

想いの力を、 救う力に。



+ 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

和歌山県支部

2026年8月発行

災害や紛争、貧困や感染症で
傷つき苦しんでいる人をなんとしても救いたい。
私たちを動かしているのは、
この強い想いなんだ。
あなたの想いを赤十字と一緒に、
救う力に変えませんか。

**赤十字は、
動いてる！**
with You

和歌山赤十字

01 第71回和歌山県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターを実施

令和7年8月7日(木)、8日(金)にかつらぎ町の紀北青少年の家にて第71回和歌山県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンターを開催し、県内の小学校17校から96名、中学校1校から1名、高等学校5校から16名の計113名が参加し、災害時の避難所体験としての炊き出しやAEDの使い方、また、心肺蘇生の学習やフィールドワークに取り組みました。

参加者からは、「自分で考えて行動することの大切さを学べた」「協力して助け合うことの大切さを学べた」「災害が起こったときに何をすべきかを学べた」「みんなと楽しみながら新しいことを学べた」「来年も参加したい」などの意見が多くありました。

今後も赤十字活動の未来を担う青少年が実践活動を通じて、「気づき、考え、行動」できる学びの機会を提供し、赤十字思想をもった子どもたちの育成を行っていきます。



02 第43回NHK海外たすけあいキャンペーンの実施



日本赤十字社では、毎年12月1日から25日の期間、日本放送協会及びNHK厚生文化事業団との共催で紛争や災害、飢餓などで苦しむ世界の人々を支援する「NHK海外たすけあい」キャンペーンを開催しています。

和歌山県支部でも、期間中に、県内で活動いただいている地域赤十字奉仕団や青年赤十字奉仕団の協力を得て、啓発活動及び街頭募金活動を行いました。

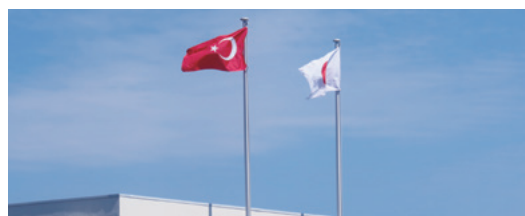


03 JRC・青年赤十字奉仕団研修会を開催 ～エルトゥール号遭難事故から学ぶ赤十字精神について～

令和8年3月20日(金・祝)・21日(土)、串本町にてJRC加盟校の高校生、青年赤十字奉仕団員を対象に研修会を開催し、高校生10名、青年赤十字奉仕団員4名、高校教員1名、スタッフ4名の、計19名が参加しました。

本研修会は日本赤十字社の平時国際救護の発祥である「エルトゥール号遭難事故」を通じて、赤十字の原則である「人道」について学び、今後の赤十字活動への知見を深めることを目的としており、語り部の案内によるトルコ記念館見学、支部職員や赤十字ボランティアによる赤十字に関する講義や国際人道法の研修を行いました。

支部創立130周年事業として実施しましたが、今後もJRC、青年赤十字奉仕団員の学習の場として継続する予定です。



04 「赤十字運動月間」の啓発活動を実施



日本赤十字社では、毎年5月を「赤十字運動月間」として「赤十字会員増強運動」を全国で展開し、社業の推進について広く国民の理解を求めているところです。

和歌山県支部でも、県内で活動いただいている地域赤十字奉仕団や青年赤十字奉仕団の協力を得て、各地域で啓発活動及び街頭募金活動を行いました。



05 令和8年全国赤十字大会が開催

令和8年5月12日(火)、日本赤十字社名誉総裁の皇后陛下をはじめ、名誉副総裁の秋篠宮皇嗣妃殿下、常陸宮妃華子殿下、三笠宮寛仁親王妃信子殿下、高円宮妃久子殿下のご臨席を仰ぎ、全国の赤十字関係者約1,600名の参会のもと令和8年全国赤十字大会が明治神宮会館において開催され、和歌山県支部からは20名(支部役員、有功会役員、活動資金協力者、赤十字奉仕団委員長、支部・施設職員)が参会しました。また、赤十字の活動をより知っていただくために、参会者の皆様と本社赤十字情報プラザの見学も行いました。



06 令和8年度第1回評議員会を開催



令和8年6月9日(火)、和歌山県日赤会館会議室において、令和8年度第1回日本赤十字社和歌山県支部評議員会を開催しました。

評議員会とは、県内における赤十字会員の皆様から選出された評議員の方々に、本県支部、医療センター及び血液センターの事業計画・報告や予算・決算などの重要な事項をご審議いただく場です。

今回の評議員会では、令和7年度の事業報告及び歳入歳出決算についてご審議いただき、承認されました。

07 和歌山県日赤有功会総会の開催

令和8年6月10日(水)、和歌山市内のホテルアバローム紀の国において、第53回和歌山県日赤有功会総会及び懇親会を開催しました。

総会では、令和7年度の事業報告と収支決算及び令和8年度の事業計画(案)と収支予算(案)、役員改選についてをご審議いただき、承認されました。

また、懇親会には、来賓として支部長である宮崎泉知事にもご参加いただきました。



08 第30回日本赤十字社第4(近畿)ブロック合同災害救護訓練を実施

令和8年6月6日(土)、日本赤十字社第4(近畿)ブロック合同災害救護訓練が京都府支部の担当により山城総合運動公園で開催され、和歌山県支部から常備救護班1班7名、支部職員5名、訓練コントローラーとして和歌山医療センター職員9名及び赤十字特別救護奉仕団員3名の24名が参加しました。

訓練は生駒断層帯を震源とするマグニチュード7.5の直下型地震が発生し、宇治市などで震度7の激しい揺れが観測され、京都府南部の広範囲にわたり甚大な被害が発生したという想定で、支部本部訓練、避難所でのアセスメント(状況調査)訓練、現場救護所訓練、こころのケア訓練及びボランティア訓練など、近年増加する災害に赤十字として即応できる体制を整えられるよう、実践に即した訓練を実施しました。



赤十字活動資金のご協力について

日本赤十字社が行う人道支援活動は、皆さまからのご寄付によるご支援で行われています。継続的なご寄付が、「いざ」というときの迅速で最適な支援や、普段からの備えを可能にします。ぜひ、日本赤十字社の活動をご支援ください。



あなたのご支援でできることの一例

3,000円

のご寄付を1年間継続で



避難所で必要不可欠となる
毛布を12人分備える

4,000円

のご寄付を1年間継続で



避難所で使用する
安眠セットを12人分備える

5,000円

のご寄付を1年間継続で



避難所で使用する
緊急セットを50人分備える

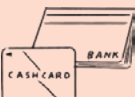
10,000円

のご寄付を1年間継続で



避難所で使用する
心肺蘇生トレーニングキットで
60人分の講習を行える

郵便局・銀行の 口座振替で



QRコードより申込書をダウンロードし、ご記入のうえご郵送ください。お引落は毎年・毎月からお選びいただけます。



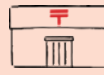
クレジットカード・ PayPay・AmazonPayで



QRコードからの登録により、3種の方法でご寄付いただけます。ご寄付の方法は、毎年・毎月・今回のみの3種類からお選びいただけます。



お近くの郵便局で



口座番号:00930-4-313327
加入者名:日本赤十字社和歌山県支部
※振込先等を記載した「専用振込用紙」もごさいますので、ご連絡ください。(TEL:073-422-7141)

●支部の窓口、お住いの市町村窓口
(地区・分区)でもご協力いただけます。

「人間を救うのは人間だ。」 赤十字と学ぼう！



一般普及講習

1 救急法

基礎講習

AEDの使用方法や心肺蘇生法を中心とした
一次救急処置の知識と技術を習得できます。

救急員養成講習

日常生活における事故防止、
けがの応急手当、搬送、急病などに
ついての知識と技術を習得できます。



2 幼児安全法

支援員養成講習

乳・幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当、
かかりやすい病気と発熱等の症状に対する手当
などの知識と技術を習得できます。

3 健康生活支援講習

支援員養成講習

高齢者の介護、健やかな高齢期を迎えるための
健康管理、地域での高齢者支援などの
知識と技術を取得できます。



開催日等は
ホームページへ!!



お申し込み 方法

電話申し込み

和歌山県支部 事業推進課まで
TEL: 073-422-7141

WEB申し込み

和歌山県支部HPまたは右の
QRコードから、申込フォームへアクセス



あなたの街や会社で
開催してみませんか？

指導員派遣

地域や職場での講習に指導員を派遣いたします！

詳しくは
こちらにアクセス!!



短期講習

一般普及講習の中から、
必要とする内容を取り上げて、
短時間で行う受講しやすい講習です。
(例) 心肺蘇生法と止血法で約90分など
ご希望に合う講習を行いますのでご相談ください。

防災減災セミナー

防災意識や知識を高め、地域や職場での
災害対応に役に立つ講習です。
いざという時に、自分自身や家族の命を守り、
地域のみんなで助け合い、支え合える社会を
目指すために、一緒に動き出しましょう！

開催の2か月前までにご相談下さい。

収支決算概要

歳入(245,527千円)

個人からの
会費・寄付金収入

120,918千円

法人からの
会費・寄付金収入

40,810千円

その他の収入

83,799千円

歳入歳出差引額
(翌年度繰越金)

31,398千円

歳出(214,129千円)

災害救護活動・救護体制の強化に

36,100千円

- 救護班要員等の育成、災害救護訓練や研修の実施
- 災害物資の備蓄、救護資機材の整備

生命と健康を守る講習及び 赤十字ボランティアの活動に

33,228千円

- 救急法等の各種講習会の実施
- 奉仕団活動を推進するためのボランティアの養成

市町村での赤十字活動に

9,832千円

- 各市町村での救護資機材の整備
- 各地域でのボランティア活動

赤十字会員の募集や広報活動に

33,712千円

- パンフレット、広報誌の作成
- ダイレクトメールの送付

災害等資金積立金等に

20,547千円

運営管理等の経費に

80,710千円

09 しらす丼ハートラちゃんの誕生！！

令和8年5月11日、日本赤十字社は、47都道府県それぞれの地域を象徴する衣装や、特産品、また、景勝地などにより地域の特色を表現した、オリジナルの全国ご当地ハートラちゃんを発表しました。

全国ご当地ハートラちゃんは、全国各地で展開している「苦しんでいる人を救う」ための赤十字活動に、より親しみをもっていただき、そして、さまざまなカタチで参画いただけるようにと、各地域の職員がアイディアを出し合ってデザインしました。

和歌山県のご当地ハートラちゃんは、「しらす丼」をモチーフとした「しらす丼ハートラちゃん」！県内の担当からは、みかんや和歌山ラーメン、熊野古道にちなんだ装いなど多くの案が寄せられましたが、まだあまり知られていない和歌山の魅力を伝えたいという思いから、主に海の近くの地域で親しまれている「しらす丼」に注目し、思わず食べたくなる、調べたくなるような、かわいらしいデザインに仕上がりました。

この「しらす丼ハートラちゃん」をきっかけに、たくさんの方々に和歌山の魅力を知っていただければ幸いです。

